

2022年度在籍者概要と 3年間の動向について

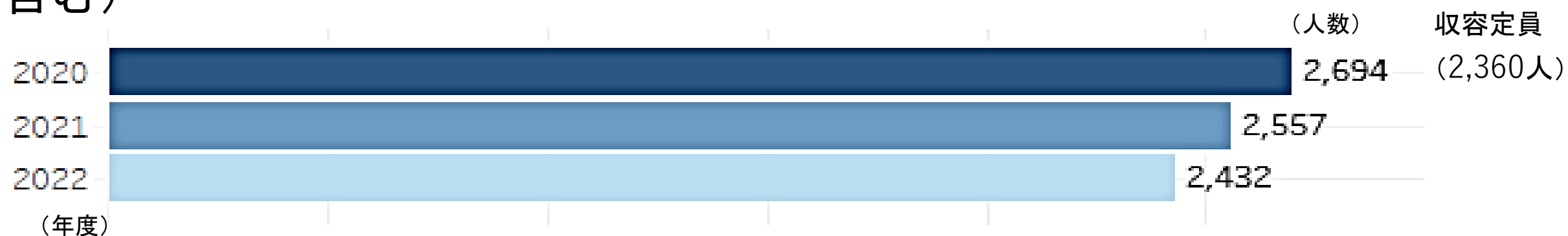
(令和4年5月1日現在)

対象:2022年度学生基本情報より、衛生士専門学校生、留学生別科、大学院生を除く。
出身都道府県は、出身高校所在地(留学生を除く)に基づいている。
ただし、高等学校卒業程度認定試験合格者や帰国子女に関しては、保護者住所を出身地とみなした。
留学生については、在留資格が留学となっている者を留学生として扱った。

1. 過去3年間の在籍人数(留学生含む)の動向

2020年度から2021年度にかけて、学生数は2,694人から2,557人に減少し、2021年度から2022年度にかけて2,557人から2,432人へと減少したが、朝日大学の学生収容定員数は2,360人なので、2022年度の在籍者数は学生収容定員数の1.03倍となっている。

全体(留学生を含む)



2. 学部別の過去3年間の在籍人数(留学生含む)の動向

法学部では2020年度から2021年度にかけて420人から374人へ減少し、2022年度にかけて335人へと減少した。2022年度の法学部在籍者数は収容定員数(320人)の1.05倍である。

経営学部は2020年度から2021年度にかけて561人から523人へ減少し、2022年度にかけて483人へと減少した。2022年度の経営学部在籍者数は収容定員数(400人)の1.20倍である。

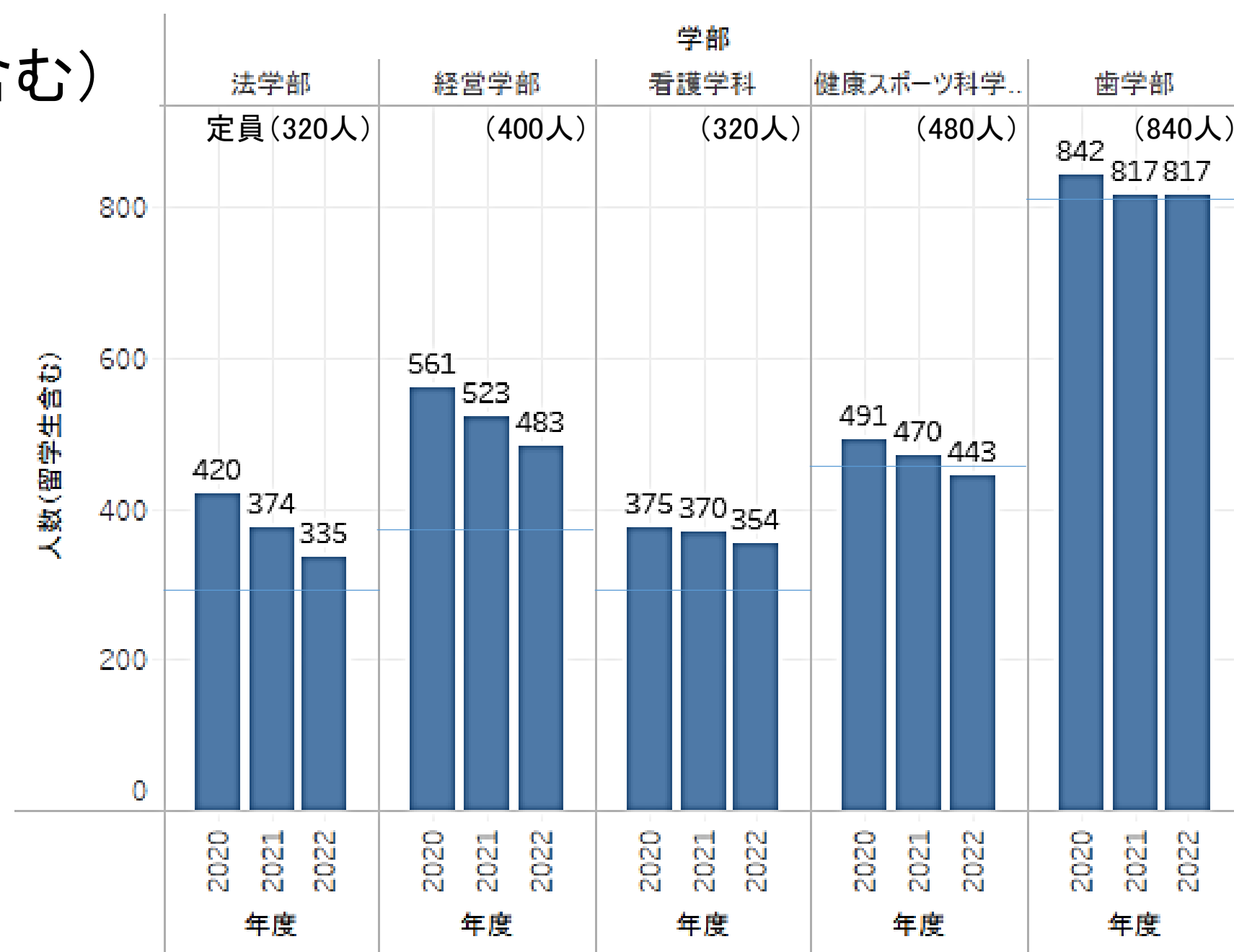
保健康医療学部看護学科は2020年度から2021年度にかけて375人から370人へ減少し、2022年度にかけて354人へと減少した。2022年度の保健康医療学部看護学科在籍者数は収容定員数(320人)の1.10倍である。

保健康医療学部健康スポーツ学科は、2020年度から2021年度にかけて491人から470人へ減少し、2022年度にかけて443人へと減少した。2022年度の保健康医療学部健康スポーツ科学科在籍者数は収容定員数(480人)の0.92倍である。

なお、2022年度の保健康医療学部としての在籍者数は797人で、学部収容定員数(800人)の1.00倍である。

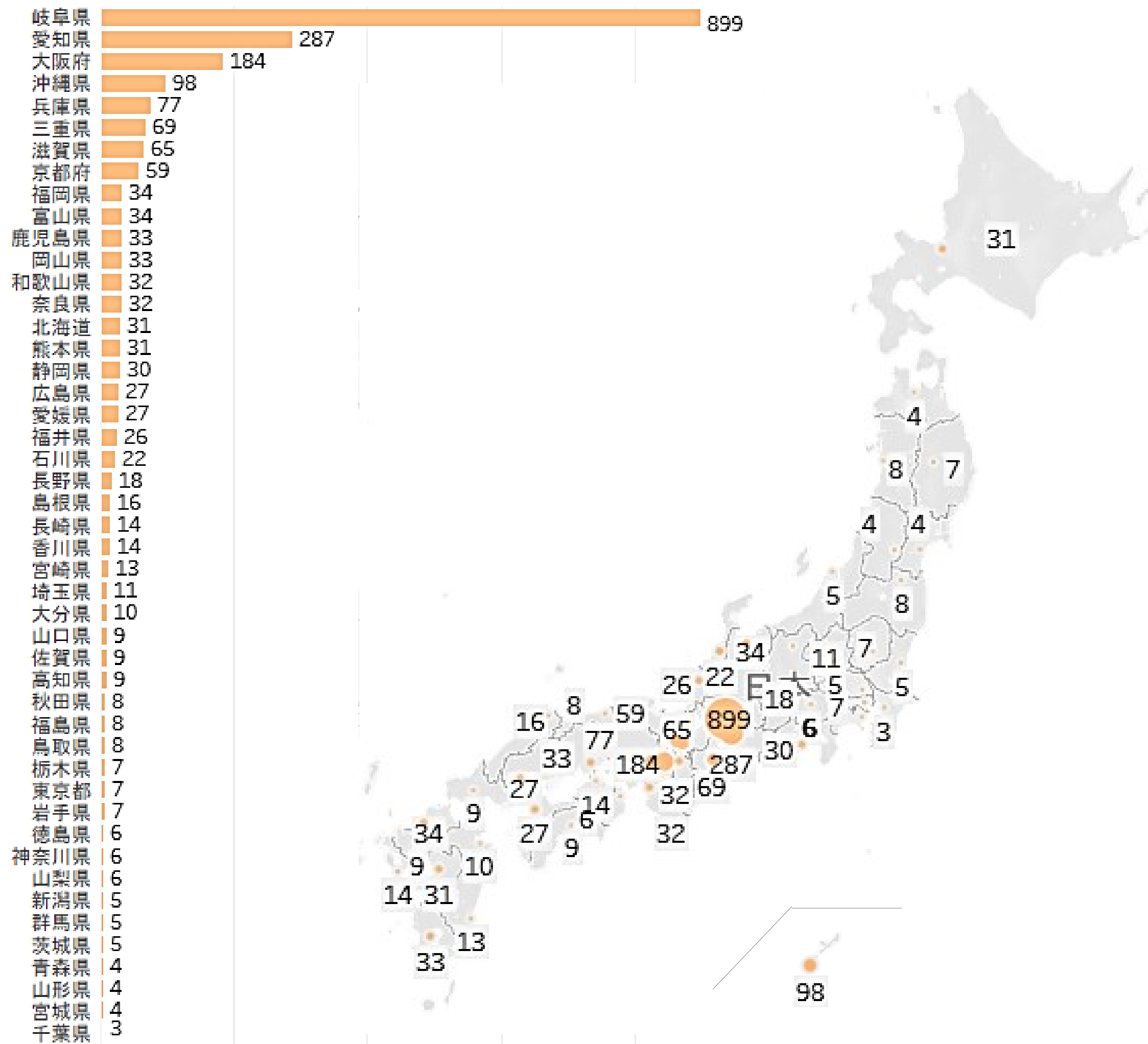
歯学部は、2020年度が842人、2021年度が817人、2022年が817人となっており、2022年度の歯学部の在籍者数は収容定員数(840人)の0.97倍となっている。

学部別(留学生を含む)



3. 全学部出身県

日本国内の学生数は2345名であり、上位5地域は、岐阜県、愛知県、大阪府、 沖縄県、兵庫県である。47都道府県全地域から学生が集結している。



4. 学部別出身地域

学部ごとの出身地域では、各学部の特徴がみられた。

法学部は、岐阜県、愛知県、沖縄県、三重県、富山県出身の学生が多い。東海三県と隣県の富山県以外では、沖縄県の学生が多いのが特徴である。

経営学部は、岐阜県、ベトナム、沖縄県、愛知県、富山県などの学生が多い。特にベトナムからの学生が多いのが他学部との違いである。

保健康医療学部看護学科は、岐阜県、愛知県、滋賀県、北海道などの学生が多い。圧倒的に岐阜県の割合が高く、地元根差した学科である。

保健康医療学部健康スポーツ学科は、岐阜県、愛知県、沖縄県、大阪府、福岡県出身者が多い。他の学部と比べ九州沖縄地域の学生が多いのが特徴である。

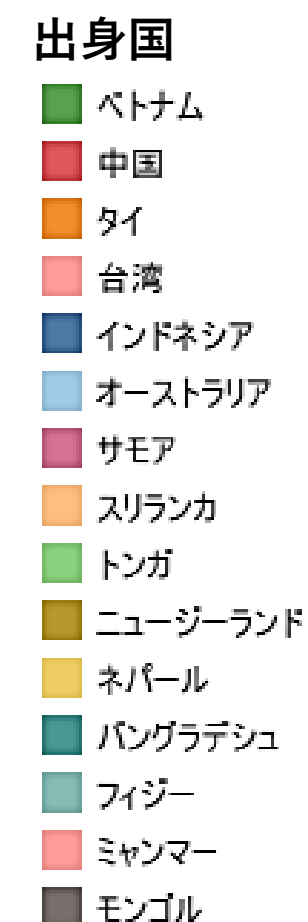
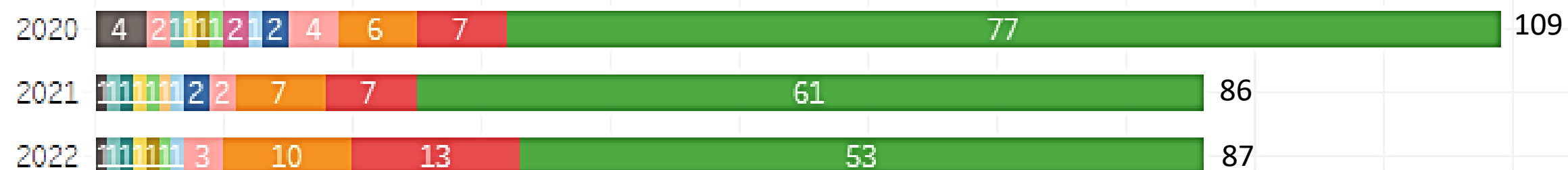
歯学部は、大阪府、愛知県、岐阜県、兵庫県、京都府出身者が多い。他学部と比べて、岐阜県以外の関西圏から人気が高いことが伺える。

表 学部別出身地域

	1位		2位		3位		4位		5位	
法学部	岐阜県	163	愛知県	36	沖縄県	34	三重県	11	富山県	9
経営学部	岐阜県	264	ベトナム	53	沖縄県	20	愛知県	17	富山県	12
保健康医療学部看護学科	岐阜県	283	愛知県	52	滋賀県	5	北海道ほか	3	福井県ほか	1
保健康医療学部健康スポーツ科学科	岐阜県	91	愛知県	35	沖縄県	33	大阪府	29	福岡県	22
歯学部	大阪府	148	愛知県	147	岐阜県	98	兵庫県	68	京都府	44

5. 留学生出身国3年間の動向

2020年度から2021年度にかけて、COVID-19のパンデミックの影響を受け留学生数は109人から86人に減少した。2021年度から2022年度にかけては86人から87人へとあまり増加しておらず、COVID-19のパンデミックの影響が続いている。留学生出身国の上位4地域は、ベトナム、中国、タイ、台湾と3年間で変わっていない。



2022年度 全学部留学生出身国

